

これまでの富山型がん診療体制

国の指定を受けているがん診療連携拠点病院(8病院)と、県独自指定の2病院、PETセンターが連携した「富山型がん診療体制」により、県全体のがん医療の均てん化やがん医療水準の強化を図る。

全県的な機能

・5大がん以外のがん(膵、頭頸部、膀胱、腎、小児、造血器のがん、職業がん)に対応

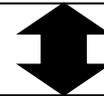
県がん診療連携拠点病院
(県立中央病院)

がん診療人材育成の拠点

特定機能病院(がん治療部)
(富山大学附属病院)

北陸アスベスト疾患センター
(富山労災病院)

共同利用型PETセンター
(画像情報オンライン)



がんの専門医療を連携して提供

地域がん診療連携拠点病院の機能

- ・5大がん(肺、胃、肝、大腸、乳がん)の治療に対応
- ・セカンドオピニオン、緩和ケア、病病・病診連携の推進
- ・地域連携クリティカルパスの運用と相談支援センターの運営
- ・担当分野について、臨床研究の推進、がん情報の収集と発信、医療従事者等への研修

【砺波医療圏】

市立砺波総合病院
(肝がん)

【高岡医療圏】

厚生連高岡病院
(化学療法)

高岡市民病院
(女性のがん)
(放射線療法)

済生会高岡病院
(在宅緩和ケア)

【富山医療圏】

富山市民病院
(胃・大腸がん)

富山大学附属病院
(高度先進医療 治験)

富山赤十字病院
(在宅緩和ケア)

【新川医療圏】

黒部市民病院
(血液がん)

富山労災病院
(悪性中皮腫)